

社会医療法人敬愛会 中頭病院 治験審査委員会 第235回

開催日：2024年3月15日（金）17:30～17:10

場 所：中頭病院 2F 講義室

委員	新里敬一(副院長)、安座間照子(薬剤科長)、座覇修(消化器内科部長)、座波久光(副院長)、砂川信(小児科部長)、仲宗根ゆかり(看護部長)、田中美紀(ちばなクリニック看護部長)、泉谷好信(ちばなクリニック事務部長)、大城学(事務部長)、嘉手川あゆみ(医事業務課主任)、徳原千紘(株式会社大成ホーム)、長濱照美(薬剤師 医療法人和泉会 いずみ病院)
議 題	<p>【審議事項】</p> <p>議題①中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第Ⅱ/Ⅲ相、ランダム化、二重盲検、プラセボ及び実薬対照、並行群間比較、多施設共同試験</p> <ul style="list-style-type: none">・ 治験期間が6年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 <p>議題②中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第2b/3相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較、多施設共同試験</p> <ul style="list-style-type: none">・ 当該治験薬で発生した2件の重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。・ 治験期間が5年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 <p>審議結果：承認</p> <p>議題③日本イーライリリー株式会社の依頼による早期乳癌患者を対象とした第Ⅲ相試験</p> <ul style="list-style-type: none">・ 当該治験薬で発生した2件の重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。・ 治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 <p>審議結果：承認</p> <p>議題④中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、導入療法としてABX464を1日1回投与した際の有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、第Ⅲ相試験</p> <ul style="list-style-type: none">・ 当該治験薬で発生した1件の重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。・ 治験に関する変更（治験期間延長）について、その妥当性について審議した。・ 実施状況について、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 <p>審議結果：承認</p> <p>議題⑤中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、維持療法としてABX464 25 mg 又は 50 mg を1日1回投与した際の長期有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、多施設共同、第Ⅲ相試験</p> <ul style="list-style-type: none">・ 当該治験薬で発生した1件の重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。・ 実施状況について、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

	<p>審議結果：承認</p> <p>議題⑥増悪歴を有する症候性の慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者を対象としたトゾラキマブの有効性及び安全性試験（MIRANDA）-実施施設:ちばなクリニック、名嘉村クリニック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施状況について、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 <p>審議結果：承認</p>
<p>要 旨 (決定事項)</p>	<p>審議結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 承認承認責任医師である座覇委員は審議採決には参加しなかった ② 承認承認(責任医師である座覇委員は審議採決には参加しなかった) ③ 承認承認責任医師である座波委員は審議採決には参加しなかった ④ 承認承認(責任医師である座覇委員は審議採決には参加しなかった) ⑤ 承認承認(責任医師である座覇委員は審議採決には参加しなかった) ⑥ 承認承認
<p>次回開催日</p>	<p>開催予定日：2024年4月19日</p>